

## 第5次綾部市総合計画後期基本計画 進捗を共有する指標の状況

(平成29年度)

綾部市では、「住んでよかった…ゆったりやすらぎの田園都市・綾部」を将来都市像とする第5次綾部市総合計画を策定し、その実現のため各種施策の推進に努めています。

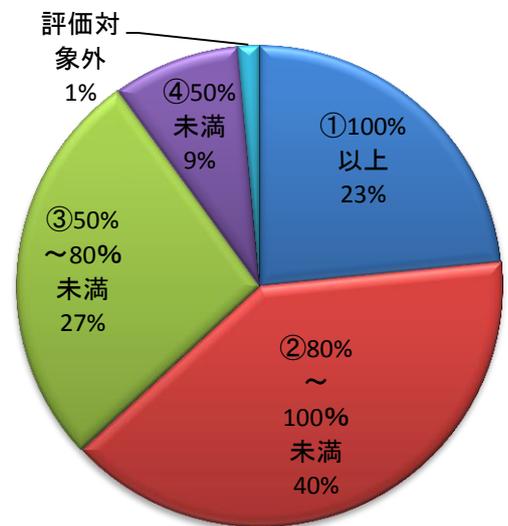
平成28年度から5か年を計画期間とする後期基本計画において、施策の進捗を市民と共有する141項目の指標を定め、その進捗状況を毎年度確認しながら達成に向けた取組を進めていくこととしています。

後期基本計画期間の2年を経過した平成29年度の指標の進捗状況を取りまとめましたのでお知らせします。

### (1) 進捗を共有する指標の結果

平成29年度における全141項目の進捗を共有する指標の目標値に対する実績値の比率について、100%以上が33項目(23%)、80~100%未満が56項目(40%)、50~80%未満が38項目(27%)、50%未満が12項目(9%)となりました。

平成32年度までの後期5か年において、指標の実績を確認する中で、PDCAサイクルを回し、計画に基づく各施策を推進します。



章別の進捗を共有する指標の状況

(単位:項目)

章	100%以上	80~100%未満	50~80%未満	50%未満	評価対象外	総計
1章	6	5	6	3	1	21
2章	5	17	7	2	0	31
3章	9	6	6	1	0	22
4章	5	13	3	1	1	23
5章	7	9	11	5	0	32
6章	0	6	3	0	0	9
計画推進	1	0	2	0	0	3
総計	33	56	38	12	2	141
割合	23%	40%	27%	9%	1%	

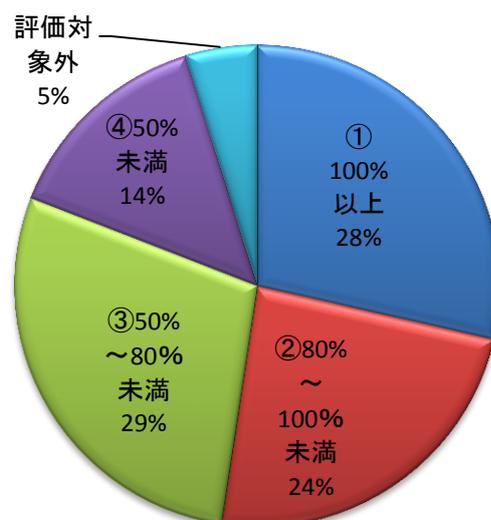
## (2) 各章ごとの取組結果

### 第1章 市民が輝き共に築くまちづくり

○この章では、人権尊重社会の実現、市民活動の促進、男女共同参画社会の実現、平和の発信と交流について、計画を定めています。

○21項目のうち6項目(28%)が100%以上、5項目(24%)が80~100%未満となっています。

- ・地球市民の集い参加者250人(目標200人)125.0%
- ・男女共同参画社会づくり図画ポスターコンクール事業応募数397点(目標500点)79.4%
- ・コミュニティ助成事業数12件(目標50件)24.0%

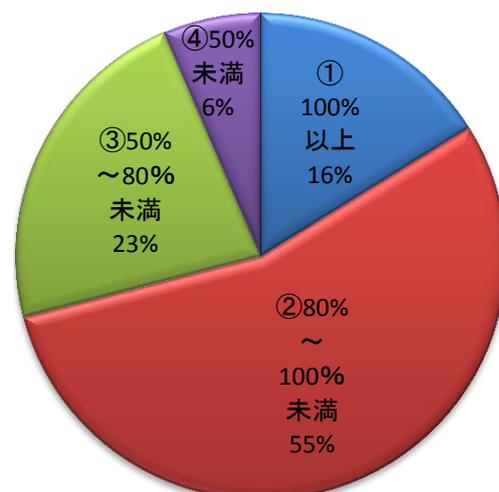


### 第2章 心豊かな人と文化を育むまちづくり

○この章では、幼児教育の充実、学校教育の充実、社会教育の充実、青少年健全育成の推進、文化・芸術の振興、スポーツの振興について、計画を定めています。

○31項目のうち5項目(16%)が100%以上、17項目(55%)が80~100%未満となっています。

- ・図書館ホームページ及びオンライン蔵書目録アクセス件数23,054件(目標20,100件)114.7%
- ・市民駅伝参加登録チーム数143チーム(目標150チーム)95.3%
- ・青少年地域活動支援事業登録団体数31団体(目標50団体)62.0%

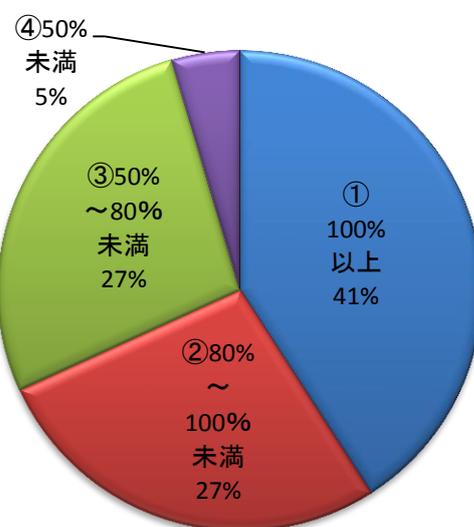


### 第3章 支えあい安心して暮らせるまちづくり

○この章では、子育て環境の充実、高齢者福祉の推進、障害者福祉の推進、地域福祉社会の実現、保健の推進、医療体制の充実、社会保障の適正運営について、計画を定めています。

○22項目のうち9項目(41%)が100%以上、6項目(27%)が80~100%未満となっています。

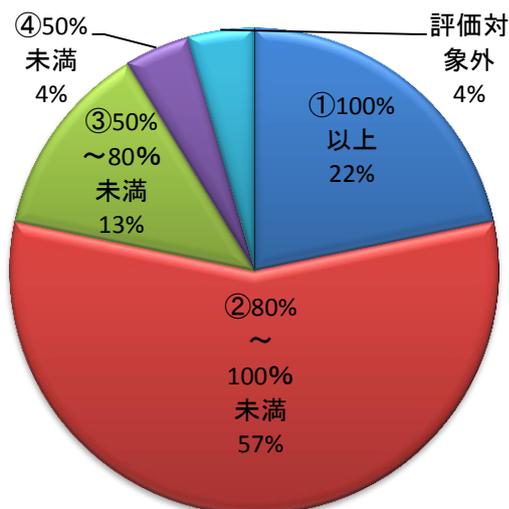
- ・高齢者配食サービス登録者数683人(目標600人)113.8%
- ・シルバー・チャイルドハウス事業実施団体数7か所(目標9か所)77.8%
- ・特定健康診査受診率34.3%(目標60%)57.2%



## 第4章 豊かさにぎわいを生み出すまちづくり

○この章では、農林業・内水面漁業の振興、農村の活性化、商業の振興、工業の振興、観光交流の推進、地元雇用の確保について、計画を定めています。

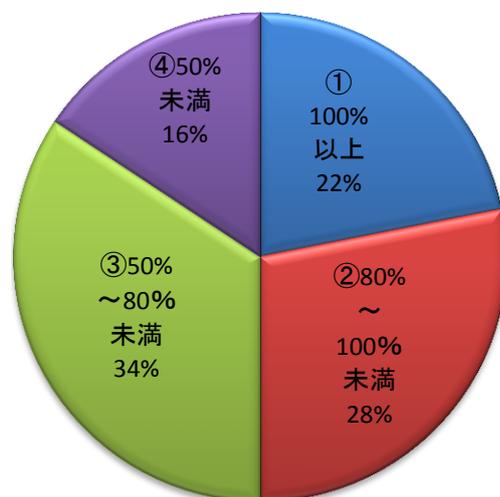
- 23項目のうち5項目（22%）が100%以上、13項目（57%）が80～100%未満となっています。
- ・有害鳥獣侵入防止柵設置延長累計 634 km（目標 650 km） 97.5%
  - ・里山ねっと交流事業参加者数 3,843 人（目標 5,100 人） 75.4%
  - ・就職フェア参加者数 57 人（目標 200 人） 28.5%



## 第5章 自然豊かで安全なまちづくり

○この章では、環境の保全と創造、廃棄物対策の推進、上水道の安定供給、下水道の整備促進、防災対策の推進、消防・救急体制の充実、生活の安全性の向上について、計画を定めています。

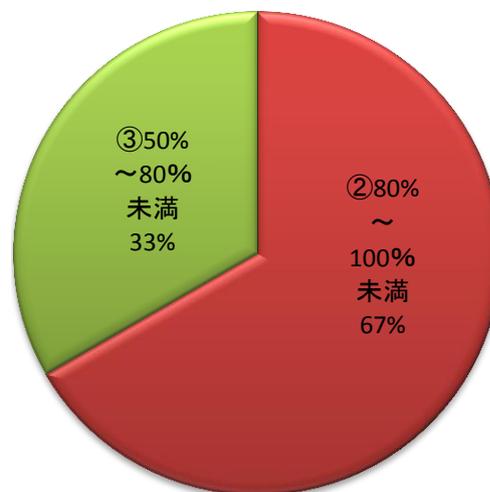
- 32項目のうち7項目（22%）が100%以上、9項目（28%）が80～100%未満となっています。
- ・上水道布設替え延長 5,696m（目標 2,000m） 284.8%
  - ・上林川を美しくする会葦刈りなど参加者数 95 人（目標 120 人） 79.2%
  - ・木造住宅改修補助件数累計 90 件（目標 135 件） 66.7%



## 第6章 快適で誰もが住みよいまちづくり

○この章では、土地利用と市街地の形成、住環境の整備、道路の整備、公共交通の充実、公園・緑地空間の充実、斎場・墓地の適正管理、地域情報化の推進について、計画を定めています。

- 9項目のうち6項目（67%）が80～100%未満となっています。
- ・市道舗装率 91.7%（目標 92.0%） 99.7%
  - ・鉄道利用通学費補助金利用者数 51 人（目標 75 人） 68.0%

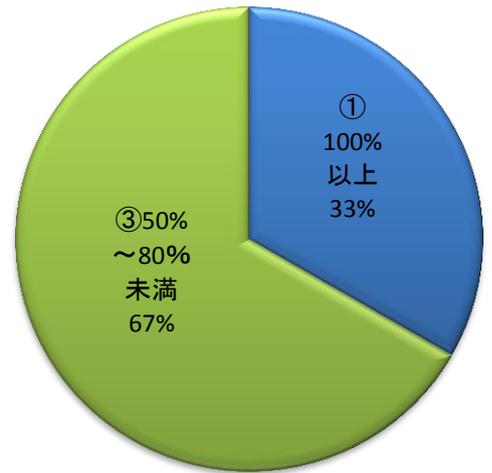


## 計画推進のために

○この章では、第5次綾部市総合計画の推進のために必要な、開かれた市政の推進、効果的な行政運営、健全な財政運営、広域連携の推進について、計画を定めています。

○3項目のうち1項目（33%）が100%以上となっています。

- ・FMいかる・あやべール・地域メルマガ等への市政情報提供件数 1,626 件（目標 1,600 件）  
101.6%
- ・綾部市ホームページのトップページアクセス件数 383 千件（目標 530 千件） 72.3%



第5次綾部市総合計画後期基本計画 進捗を共有する指標 実績調査表

No.	章	章・節	担当課	後期指標	集計区分	目標の方向	基準値(H26)	目標値(H32)	H28実績値	H29実績値	H29対目標比	H29実績	今後の方向性
1	1	11人権尊重社会の実現	市民・国保課	登録型本人通知制度登録者数	累計	↑	121人	1,000人	327人	371人	37.1%	毎月市のホームページに登録人等の掲載や、広報ねっと、FMいかる、人権福祉センターたより等による広報掲載、窓口でのポスター掲示等にて来庁者への啓発を行った。	年間目標数を定め、広報、窓口、各種イベント会場などで広く市民に周知を図り、引き続き登録者数の拡大を図る。
2	1	11人権尊重社会の実現	人権推進課	人権福祉センター各種講座参加者数	年間	↑	5,165人	7,300人	5,410人	5,486人	75.2%	参加者の高齢化や講座等参加者の固定化が見られる中、少しでも多くの方に参加いただける内容を企画・実施できた。	継続している講座は引き続き実施し、広く周知する。また、状況やニーズに沿って新たな参加者を募れる取組も検討する。
3	1	11人権尊重社会の実現	社会教育課	全綾部市人研教育研究集会参加者数	年間	↑	624人	800人	665人	594人	74.3%	11月第2土曜日に中丹文化会館で開催。講演と人権コンサートを行った。人推協加盟団体、会員をはじめ広く市民の参加を呼びかけ実施した。	講師や講演内容を工夫し、参加者の増に努める。
4	1	11人権尊重社会の実現	社会教育課	人権を考えるセミナー参加者数	年間	↑	1,241人	1,250人	1,344人	1,270人	101.6%	8月から12月まで5回実施し、ほぼ目標値の参加者があった。人権問題の解決に向けて取り組む必要性を多くの市民に理解いただく機会となった。	従来同様に共催団体を募り、様々な団体と連携しながら人権について研修していただく機会としていく。
5	1	11人権尊重社会の実現	社会教育課	人権教育講演会参加者数	年間	↑	424人	450人	380人	352人	78.2%	2月第3土曜日に市民センターで開催。多様な世代に参加いただけるように若い世代の講師を選定し実施した。	企画内容を工夫し、参加者の増加を図っていく。
6	1	11人権尊重社会の実現	社会教育課	公民館人権研修参加者数	年間	↑	1,085人	1,300人	1,089人	1,172人	90.2%	身近な学びの場である各地区公民館での人権研修の実施について支援を行い、地域住民の参加を得た。	今後も公民館長、主事会等において公民館における人権研修の必要性を強調するとともに、講師等の選定に当たっては必要な支援を行っていく。
7	1	11人権尊重社会の実現	人権推進課	人権フェスタ参加者数	年間	↑	198人	220人	195人	150人	68.2%	人権かがやきプランに基づき、人権意識の高揚を図ることを目的に実施することができた。当事者の方の講演等を行うことにより、開催することの意義を再確認することができた。	継続し開催することで、さらに広く市民への啓発する。
8	1	11人権尊重社会の実現	人権推進課	人権標語コンクール応募数	年間	↑	2,300点	2,350点	2,248点	廃止	対象外	人権標語コンクールの募集については、平成29年から廃止した。	応募標語には、類似する標語がたくさんあり、入賞作品の選考審査が大変困難な状況にあったため、廃止の方向となった。新たな指標については検討中。
9	1	12市民活動の促進	市民協働課	自治会加入世帯率	—	↑	81.2%	85.0%	79.0%	79.0%	92.9%	自治会報償金や連合会補助金等による活動の支援を行っているが、自治会加入率の低下がみられる。市の窓口で転入された時に配付する「暮らしの情報」に自治会加入についてのチラシを挟み込み自治会加入を呼びかけた。	加入率の低下並びに高齢化に伴い自治会活動が十分に行えないなど、自治会活動や運営に課題を抱える地域が増えてきている。支援の仕組みづくりについて検討する必要がある。また、自治会連合会と連携し自治会加入率を上げるための取組について検討を行う。
10	1	12市民活動の促進	市民協働課	コミュニティ助成事業数	5か年累計	↑	37件	50件	5件	12件	24.0%	H29年度実績:6団体7件 5,290千円 比較的小規模な修繕にも対応が可能となり、多くの地域でコミュニティ施設の維持修繕を中心に活用されている。また、H29年度はソフト事業での活用も2件あった。	年度途中の相談については、真に緊急性のあるもののみを対象とするという判断基準を明確にし、申請時期に間に合うよう制度利用についての周知広報を行う。

第5次綾部市総合計画後期基本計画 進捗を共有する指標 実績調査表

No.	章	章・節	担当課	後期指標	集計区分	目標の方向	基準値(H26)	目標値(H32)	H28実績値	H29実績値	H29対目標比	H29実績	今後の方向性
11	1	12市民活動の促進	市民協働課	婚活イベントでのカップリング数	年間	↑	5組	10組	15組	26組	260.0%	H29年度実績:3件 258,000円 従前からの団体によるイベント開催が行われた。	制度のPRを行い、活動団体を増やすことによりイベントへの参加者増を目指す。
12	1	12市民活動の促進	市民協働課	ボランティア総合センター登録団体数	累計	↑	103団体	110団体	121団体	125団体	113.6%	小規模なサロン活動などを行う団体の登録が増えたことにより、団体数が増加した。	ボランティア総合センターの活動を広く広報することにより、ボランティア活動への関心を高め登録団体の増加を目指す。
13	1	12市民活動の促進	市民協働課	ボランティア総合センター登録団体会員数	累計	↑	3,038人	3,100人	2,638人	2,671人	86.2%	団体構成員の高齢化等により活動を休止する団体もあり会員数が一旦減少したが、小規模な活動団体が増加したことにより、徐々に会員数が増加傾向にある。	ボランティア総合センターの活動を広く広報することにより、ボランティア活動への関心を高め登録団体への加入会員の増加を目指す。
14	1	12市民活動の促進	市民協働課	ハートセンター利用件数	年間	↑	262件	290件	317件	361件	124.5%	登録団体による利用がされているが、高齢者の多い団体にはバリアフリー化されていないため利便性が悪く使いづらい施設となっている。	京都北都信用金庫からの貸借物件であり、耐震化・バリアフリー化等建物の継続利用についても検討し、方向性を決定する必要がある。
15	1	13男女共同参画社会の実現	人権推進課	審議会・委員会等における女性委員の比率	—	↑	30.10%	40.00%	31.70%	31.00%	77.5%	団体の長の宛て職による選出方法に課題があり、団体の長にこだわらない選出や、女性選出を十分考慮してもらうことを働きかけた。	女性自身が地域や組織のリーダーとなるため、力をつける学習機会を作るとともに、女性自ら責任のある立場に積極的に参画する意識を醸成する。
16	1	13男女共同参画社会の実現	人権推進課	あいアカデミー等各種講座への参加者数	年間	↑	1,030人	1,200人	1,145人	278人	23.2%	性別による固定的役割分担の解消に向け、あいアカデミー等を開催した。(あいフェスティバルは隔年開催:H29は未実施)	継続し開催することで、さらに広く市民への啓発する。
17	1	13男女共同参画社会の実現	人権推進課	男女共同参画社会づくり図画ポスターコンクール事業応募数	年間	↑	485点	500点	440点	397点	79.4%	小学低学年の頃から「男女共同参画推進」への理解と関心を深めるため、男女共同参画冊子を活用しながら取り組めた。	すぐに結果が得られることではないが、継続実施することで、男女共同参画の推進を図る。
18	1	14平和の発信と交流	企画政策課	地球市民の集い参加者	年間	↑	100人	200人	300人	250人	125.0%	平成29年10月9日I・Tビルにて開催した。第1部ではポスター・作文コンクール、第2部では綾部世界連邦運動協会が幹事となり、あやべ平和音楽祭～祈りと願いをこめて～を初めて実施し、来場者等により千羽鶴を作製。広島市「原爆の子の像」に奉呈した。	平成29年度は、第2部において平和音楽祭という初めての取組を行い、出演団体を含め多くの来場者でにぎわった。今後も多くの市民参加を得るため、実施内容の充実を図る。
19	1	14平和の発信と交流	企画政策課	世界連邦推進綾部市小・中学生ポスター・作文コンクール応募数	年間	↑	347点	460点	444点	456点	99.1%	第26回のコンクールを募集・開催。小・中学校長会へ直接依頼し出品作品数増に努めた。応募作品数はポスター369点、作文87点、合計456点。うち、ポスター9点、作文12点が入賞し、10/9開催の「地球市民の集い」で表彰した。また、全国コンクールに出品しポスター2点、作文4点が入選した。	生徒・児童数の減少なども考慮しつつ、学校長会等の機会を捉えて、コンクールの趣旨や目的などを周知しより多くの取組・参加を図る。市民文化祭、世界連邦運動協会展示会、広報紙などを積極的に活用し入賞作品の周知を図る。

第5次綾部市総合計画後期基本計画 進捗を共有する指標 実績調査表

No.	章	章・節	担当課	後期指標	集計区分	目標の方向	基準値(H26)	目標値(H32)	H28実績値	H29実績値	H29対目標比	H29実績	今後の方向性
20	1	14平和の発信と交流	秘書広報課	あやべ特別市民制度登録数	年間	↑	2,063人	2,400人	2,126人	2,069人	86.2%	平成26年度以降2,000人超を維持しているが、制度開始から20年を経過し、継続会員の高齢化が進んでいる。	現会員の継続と合わせ、若い世代の新規加入者を確保することが必要と考えるため、新たな収納方法の導入検討や魅力ある産品を確保するよう努める。
21	1	14平和の発信と交流	企画政策課	綾部国際交流協会日本語教室など参加者数	年間	↑	900人	1,000人	1,072人	1,012人	101.2%	綾部国際交流協会に委託し日本語教室や相談事業を開催(日本語教室45回・相談事業12回)、学習者延べ560人・ボランティア延べ452人が参加した。	今後も在住外国人に対するきめ細かな対応を行い、積極的な情報発信やよりニーズに合った取組の検討を進めるなど、多文化共生に向けたまちづくりの推進を図る。特に災害時の支援に向けた新たな取組も検討を行う。
22	2	21幼児教育の充実	学校教育課	小学校と連携した幼稚園教育が実施できていると感じている保護者の割合	—	↑	100%	100%	100%	100%	100.0%	小学校と幼稚園とで保幼小連携推進事業(子どもの交流、教師の指導研究、会議等)を計画し実施した。	事業の成果と課題を踏まえ、次年度以降の計画を改善する。
23	2	22学校教育の充実	学校教育課	地域の行事に参加する子どもの割合(小6)	—	↑	89%	90%	88%	80%	88.7%	各校やブロック内で創意工夫を凝らした「ふるさと学習」を実践した。	現在の取組を、特別の教科道徳等と関連させながら、さらに充実を図る。
24	2	22学校教育の充実	学校教育課	地域の行事に参加する子どもの割合(中3)	—	↑	53%	60%	43%	58%	96.7%	学校の呼び掛けや取組により生徒の地域行事への参画意識は高くなっている。	小中一貫教育の中で、中学生が地域の子どもリーダーであるという意識を持たせたい。特別の教科道徳や「ふるさと学習」、社会科等を通して、地域について考える機会を増やしたい。
25	2	22学校教育の充実	学校教育課	将来の夢や目標を持つ子どもの割合(小6)	—	↑	83%	90%	84%	85%	94.2%	社会科学習と関連しての施設見学や職場見学などが行われており、様々な仕事があることを実感させている。学校によっては、ドリームマップを作成するなどキャリア教育に精力的に取り組んだ。	小中一貫教育の中、ブロック内でのキャリア教育について、小中連携を図るとともに、小中の系統性を整理する。キャリア教育を軸としたカリキュラムマネジメントを実践する。
26	2	22学校教育の充実	学校教育課	将来の夢や目標を持つ子どもの割合(中3)	—	↑	70%	80%	66%	72%	89.8%	将来の夢や目標よりも、目の前の進路実現についての意識が強いと思われる。	キャリア教育を軸としたカリキュラムマネジメントを実践し、将来の夢や希望を持たせながら、それにつながる進路実現をめざす取組を進める。
27	2	22学校教育の充実	学校教育課	中学校卒業時の英語検定3級以上取得者の割合	—	↑	23%	65%	21%	30%	46.6%	前年度に可否の判定基準が変更され、バランスよく得点をとる必要がでてきたため、とまどいが見られたが改善された。府が英語教員の指導力向上に力を入れている。	対策問題集を教室に置いたり、実施日を意識して学習を進めるように啓発したり、授業の中で英語検定を意識した指導を進めていく。
28	2	22学校教育の充実	学校教育課	小学校、中学校における完全給食の実施率	—	↑	88%	100%	88%	88%	88.0%	完全給食未実施校である2中学校(綾部、八田)の完全給食実施に向けて、給食調理室の整備を行った。また、栄養教諭及び栄養士等との連携強化を図り、給食の体制の充実に努めた。	平成30年度からの市内全校自校調理方式の完全給食の実施により、今後とも子どもたちに適切な教育的な効果が得られるよう学校給食の充実及び食育の推進を図っていく。
29	2	22学校教育の充実	学校教育課	中学校耐震化率	—	↑	86%	100%	100%	100%	100.0%	平成29年4月に東綾小・中一貫校を開校し、全ての小・中学校で耐震化が完了した。	完了。

第5次綾部市総合計画後期基本計画 進捗を共有する指標 実績調査表

No.	章	章・節	担当課	後期指標	集計区分	目標の方向	基準値(H26)	目標値(H32)	H28実績値	H29実績値	H29対目標比	H29実績	今後の方向性
30	2	23社会教育の充実	社会教育課	高齢者学級参加者数	年間	↑	3,156人	4,000人	3,060人	2,915人	72.9%	市内12地区で、年間3～10回開催。健康体操やスポーツ、レクリエーション、人権学習、小学生との交流などを実施した。老人クラブの解散や加入会員の減少に伴い、高齢者学級の参加者も減少傾向にある。	参加者のニーズを探りながら、講座内容の充実を図り、参加者の確保に努める。
31	2	23社会教育の充実	社会教育課	障害者教室参加者数	年間	↑	382人	400人	419人	444人	111.0%	青年学級、成人教室、視覚・聴覚・難聴講座の5講座を開催。スポーツ、料理教室、人権学習、合同講座等、年間29回の講座を実施した。	参加者のニーズを探りながら、講座内容の工夫を行い、参加者の確保に努める。
32	2	23社会教育の充実	社会教育課	地区公民館利用件数	年間	↑	4,117件	4,300件	4,075件	3,807件	88.5%	公民館ごとの特色ある自主事業を通じて、施設の利用促進を図った。志賀郷公民館の改修工事が実施され、5か月間使用できなかったため、利用件数が減少した。	地域の実情にあった事業を実施することで利用件数及び利用人数の確保を図る。
33	2	23社会教育の充実	社会教育課	中央公民館利用件数	年間	↑	834件	900件	805件	760件	84.4%	貸館事業や自主事業(中丹ふれあいアカデミー)を開催した。	指定管理者と連携し、貸館業務や自主事業の開催により利用件数の確保を図る。
34	2	23社会教育の充実	社会教育課	図書館貸出冊数	年間	↑	141,389冊	145,000冊	139,690冊	139,780冊	96.4%	年々減少傾向にあったが、一昨年度から横ばいまたは微増傾向にある。	特集本コーナーの設置等見せ方にも工夫しながらより読書意欲が高まるような取組の実施に努める。
35	2	23社会教育の充実	社会教育課	綾部市図書館ホームページ及びオンライン蔵書目録アクセス件数	年間	↑	19,775件	20,100件	21,761件	23,054件	114.7%	ホームページについて行事開催、実施報告等ために更新するよう努め、前年よりも増加した。	行事開催通知、事業の実施報告など、館内の取組が見えるようためにホームページの更新を行い、新しい情報がすぐに見られるように努める。
36	2	24青少年健全育成の推進	社会教育課	一斉声かけ参加者数	年間	↑	945人	1,300人	842人	960人	73.8%	11月17日を全市一斉声かけの日として実施した。公民館、PTA、学校等が連携した取組となっている。	子どもたちへの声かけや見守りの機運を高めるためのきっかけづくりの事業として、より多くの参加者が得られるよう育成協参画団体等に呼びかけていく。
37	2	24青少年健全育成の推進	社会教育課	青少年地域活動支援事業登録団体数	年間	↑	33団体	50団体	29団体	31団体	62.0%	異世代間交流や体験活動などを通じて、青少年の健全な育成を促進するため、子ども会等地域の青少年育成団体に補助金を交付した。申請数が、減少又は横ばい傾向にあるとともに、申請団体が固定化されてきている。	学校等を通じ、さらに多くの子ども会等に制度の周知を図り活用を促す必要がある一方で、申請団体が固定化されてきている現状から、制度の継続について検討する必要も生じている。
38	2	25文化・芸術の振興	文化・スポーツ振興課	市美術展作品出展数	年間	↑	274点	320点	269点	226点	70.6%	出品者数・出品点数共に昨年より減少した。出品者の高齢化が原因と考えられる。	若者の出品が少ないため、周知方法を改善していく必要がある。
39	2	25文化・芸術の振興	文化・スポーツ振興課	市美術展入場者数	年間	↑	1,065人	1,370人	926人	901人	65.8%	初日は休日であったが天候が悪かったため来場者は少なかった。このほか、平日については休日と比べて来場者は少なかった。	会場が暗いとの意見を多数いただいた。少なくとも来年度は同会場で開催予定のため、会場レイアウトについて工夫して改善予定。(例:天井照明に平行となるように作品パネルを並べる、会場の壁付近の作品パネルを2m程度内側に寄せるなど)

第5次綾部市総合計画後期基本計画 進捗を共有する指標 実績調査表

No.	章	章・節	担当課	後期指標	集計区分	目標の方向	基準値(H26)	目標値(H32)	H28実績値	H29実績値	H29対目標比	H29実績	今後の方向性
40	2	25文化・芸術の振興	文化・スポーツ振興課	総合文化祭作品出展数	年間	↑	1,681点	1,700点	1,712点	1,638点	96.4%	基準年以降微減となった。綾部市文化協会が作成したポスター、チラシを公共施設に設置するとともに綾部市文化協会による初心者文化講座のPRに努めた。	初心者文化講座のPRや文化祭開催を広報紙に掲載するなど市として積極的に支援を行う。
41	2	25文化・芸術の振興	文化・スポーツ振興課	総合文化祭入場者数	年間	↑	5,139人	5,200人	4,630人	4,462人	85.8%	基準年以降減少傾向。出品者の高齢化や他の行事との重複なども影響していると思われる。	文化祭開催を多くの方に知っていただくため、市広報紙、メールマガジン等によりPRを行うなど積極的に支援する。
42	2	25文化・芸術の振興	文化・スポーツ振興課	優良建築物活用事業利用件数	年間	↑	23件	25件	16件	19件	76.0%	基準年以降、微減となっている。件数は減となっているが、利用日数は増加し、新たな団体の利用もあった。	平成30年度は施設所有者のゲンゼが独自イベントを複数回行う関係で、利用が減ると考えられるが、広報・周知等の積極的なPRを心がける。
43	2	25文化・芸術の振興	文化・スポーツ振興課	中丹文化会館入場者数	年間	↑	57,222人	60,000人	56,400人	55,082人	91.8%	中丹文化会館で開催されるイベントの内容、及び集客力により数値が変化する。イベントチラシ等を市美術展会場、市の窓口等で広報・配布するなどPRに努めた。	中丹文化会館で開催される事業について、市として市広報紙、メールマガジン等で事前の広報について積極的にPRに努める。
44	2	25文化・芸術の振興	社会教育課	資料館利用者数	年間	↑	8,178人	10,000人	2,506人	2,435人	24.4%	開館後20年を越え、常設展示にリピーターを呼び込む工夫が必要になっている。企画展示・特別展示は比較的堅調である。	展示手法の見直しや館自体のリニューアルなど、抜本的な改善策を検討していく。
45	2	25文化・芸術の振興	社会教育課	天文館入館者数	年間	↑	10,592人	10,800人	11,757人	12,057人	111.6%	密かな天文ブームであるとともに、各種様々な催しを開催し、多くの市民の施設利用に努めた。	今後とも話題の天文現象の観察会や、様々な体験教室等を実施する。
46	2	26スポーツの振興	文化・スポーツ振興課	スポーツ施設利用者数	年間	↑	229,755人	242,000人	172,210人	195,984人	81.0%	大規模な大会等の有無により数値に変化あり。施設の修繕、改修等により施設の充実に努めるとともに指定管理者とともに施設のPR等利用促進に努めた。	指定管理者とともに施設のPR等利用促進に努めるとともに計画的に修繕等を行う中で施設の充実を図る。
47	2	26スポーツの振興	文化・スポーツ振興課	府民総体参加者数	年間	↑	1,954人	2,000人	2,110人	1,690人	84.5%	競技者の高齢化・選手集めに苦労されている協会もあり、それぞれの種目の競技者が減少したと考えられる。	各種競技協会においてPR強化を図るとともに競技者を育成するとともに競技ごとの参加者の増加を図る。
48	2	26スポーツの振興	文化・スポーツ振興課	スポーツ少年団加入率	—	→	24.00%	24.00%	21.00%	20.60%	85.8%	児童の減少、趣味の多様化等により基準年より減少している。加入促進するためにチラシを作成し4月と11月に市内小学校全生徒に配布した。	今後も継続してチラシ配布を実施するほか、スポーツ少年団に加入していない団体にも加入を働きかける。
49	2	26スポーツの振興	文化・スポーツ振興課	チャレンジウィーク参加率	—	↑	37.10%	50.00%	33.30%	32.13%	64.3%	恒例行事として自治会、団体等で取組をされているところもあるが、個人での参加(報告)が少ない。今までと同様にFMや広報などを通じてPRに努めた。	市民に運動が健康づくりの第一歩であることを伝えるとともにそのきっかけ作りとして取り組まれるようPRしていきたい。
50	2	26スポーツの振興	文化・スポーツ振興課	市民駅伝参加登録チーム数	年間	↑	145チーム	150チーム	143チーム	143チーム	95.3%	昨年参加チーム、市内企業にダイレクトメールを送付。公共機関や市内スポーツ店などに要項を置いてもらった。FM、市広報紙を利用するなどして大会のPRを行った。	これまでと同様に誰でもスポーツに親しめる大会として維持していきたい。

第5次綾部市総合計画後期基本計画 進捗を共有する指標 実績調査表

No.	章	章・節	担当課	後期指標	集計区分	目標の方向	基準値(H26)	目標値(H32)	H28実績値	H29実績値	H29対目標比	H29実績	今後の方向性
51	2	26スポーツの振興	文化・スポーツ振興課	二王門登山レース参加登録者数	年間	↑	946人	1,000人	971人	905人	90.5%	23回を数え市内外から多くの参加を得ている。昨年の参加者やチームにダイレクトメールを送付した。公共機関や市内スポーツ店などに要項を置いてもらった。	これまでと同様の募集方法を継続。地元企業等にもPRしていきたい。
52	2	26スポーツの振興	文化・スポーツ振興課	里山サイクリング参加登録者数	年間	↑	565人	600人	495人	506人	84.3%	天候は開会式時点では曇りから晴れで、昨年度より参加者は増えたが目標には届かなかった。	ホームページ等での周知徹底、また要項の内容を訂正し、参加者の増加を図りたい。
53	3	31子育て環境の充実	民生児童課	児童館・児童センター利用児童数	年間	↑	11,865人	13,000人	15,520人	8,536人	65.7%	児童福祉法に基づき、児童の健康増進と情操を豊かにすることを目的として運営を実施した。3つの施設が、それぞれ未就学児童を対象とした事業を実施した。	今後も児童の健康増進と情操を豊かにすることを目的として、効果的な事業実施に努めて適正な運営を実施していく。
54	3	31子育て環境の充実	民生児童課	保育所、幼児園、認定こども園への希望者の入所・入園率	年間	→	100%	100%	100%	100%	100.0%	安心して暮らし、働くことができるよう子どもの保育・教育の場を提供した。	今後も継続して実施。認定こども園への移行を推進することで、保育・教育環境の更なる充実を図っていく。
55	3	31子育て環境の充実	民生児童課	幼児発達サポート事業参加率	—	→	100%	100%	100%	100%	100.0%	対象児童249人のうち、249人全員が参加し、事業の実施率としては、100%であった。	引き続き、事業は全園に実施し、事後支援の充実を図り就学につなげていく。
56	3	32高齢者福祉の推進	高齢者支援課	高齢者配食サービス登録者数	累計	↑	595人	600人	672人	683人	113.8%	「食のアセスメントシート」や「生活サポート会議」により対象者の健康・生活状態を分析することで、配食サービスを必要とする対象者に適正に配食することができた。	平成30年度から、土・日、年末年始等を含む年間365日の配食を実施する。
57	3	32高齢者福祉の推進	高齢者支援課	認知症サポーター養成講座受講者数	累計	↑	8,578人	12,000人	9,771人	10,364人	86.4%	平成29年度は593人のサポーター養成を行った。中小企業、市役所など職域や自治会、サロンに対して講座開催を行うことができた。学校関係については、2校のみであった。	今後も、学校関係や職域など幅広い年齢層へ講座受講の呼びかけを行っていく。
58	3	32高齢者福祉の推進	高齢者支援課	地域密着型サービス施設数	累計	↑	17施設	20施設	20施設	20施設	100.0%	高齢者保健福祉計画における施設整備計画は次年度に繰越となり、平成29年度における増減はなし。	高齢者保健福祉計画に定める施設整備については、国・府補助制度を活用し、計画的に推進していく。
59	3	32高齢者福祉の推進	高齢者支援課	介護福祉士養成学校修学資金貸与数	年間	→	2人	2人	0人	2人	100.0%	平成29年度からはより利用しやすい制度とするため貸与上限額を100万円に引き上げ、2人に貸与した。	介護人材確保を図るため、一層の制度周知を行い、継続実施する。
60	3	32高齢者福祉の推進	高齢者支援課	清山荘入館者数	年間	↑	30,153人	30,300人	30,954人	32,435人	107.0%	施設・設備が老朽化しているため、計画的に改修し利用者の利便性の向上を図る。指定管理者であるNPO法人の集客努力により年間32,435人の来館者数となった。	引き続き、NPO法人と連携して入館者数を確保していく。
61	3	33障害者福祉の推進	福祉課	障害者介護給付費等支給事業利用者数	年間	↑	4,559人	5,000人	4,676人	4,829人	96.6%	居宅介護、同行援護、生活介護等利用者ニーズに応えた支給決定及びサービス利用となるよう努めた。利用者ニーズに合った支給決定ができた。	必要な人に必要なサービスが提供できるよう、障害福祉サービス事業所の充実について支援が必要。特に、行動援護、短期入所、グループホームなどの提供事業所が市内にはまだ不足している。

第5次綾部市総合計画後期基本計画 進捗を共有する指標 実績調査表

No.	章	章・節	担当課	後期指標	集計区分	目標の方向	基準値(H26)	目標値(H32)	H28実績値	H29実績値	H29対目標比	H29実績	今後の方向性
62	3	33障害者福祉の推進	福祉課	地域活動支援センター利用者数	年間	↑	1,196人	1,600人	1,056人	1,032人	64.5%	事業開催により身体障害者や精神障害者など様々な障害のある人に社会参加の場を提供し、多数の利用者に参加いただいた。 活動内容としては夏祭りやバス遠足など開催し、障害の違いに関わらず等しく参加できる場を提供できた。	発達障害や高次脳機能障害などの様々な障害者の人の居場所へのニーズが増加傾向にあり、多様な障害者への参加対応を行っていく。 参加者の高齢化が進み、移動手段を持たない方が多く、今後継続した参加をしていただくため、送迎の充実を図る必要がある。
63	3	33障害者福祉の推進	福祉課	精神障害者社会復帰相談者数	年間	↑	2,504人	2,700人	2,973人	2,729人	101.1%	平成29年度は相談支援事業所の側面的支援を中心に相談支援を行った。 支援機関を始めとする連携を密に行い、社会資源の体制強化と地域生活支援の充実に取り組むことができた。	急増する精神障害者の相談に、精神保健福祉士の資格を持つ職員による相談事業及び居場所づくりに努める。 ここ数年、精神保健に係る相談が増加している。適切な相談支援を実施できるよう相談支援事業所との側面的支援・連携を行う。
64	3	33障害者福祉の推進	福祉課	障害者生活支援事業相談件数	年間	↑	22,335件	24,600件	20,505件	18,432件	74.9%	毎年非常に多くの相談が寄せられ、その内容は年々多様化、深刻化している。しかし対応する相談員の人員不足により対応しきれっていない部分もあり、本来であればもっと相談件数は伸びるものと思われる。	今後も相談は多様化、深刻化していくものと予想され、現在の体制では継続困難。相談員のさらなる増員や相談支援事業所を支援する基幹支援センター設置などの強化が必要である。
65	3	34地域福祉社会の実現	民生児童課	シルバー・チャイルドハウス事業実施団体数	累計	↑	7か所	9か所	7か所	7か所	77.8%	活動を通じて、子どもと高齢者との交流ができ、また、地域の人とともに、子どもがふるさとふれあい活動に取り組むことができた。 目標には達してはいないが、少子化・高齢化が進む中、減少することなく活動が維持できている。	今後も、関係団体等との連携を図りながら、市内全地域を対象にした実施を目指していく。
66	3	34地域福祉社会の実現	高齢者支援課	地域福祉活動補助金交付件数	年間	↑	31件	35件	35件	32件	91.4%	サロン活動を実施した32団体に対して補助金を交付した。	引き続き、社会福祉協議会、ボランティア総合センターと連携を取りながら、新規団体立ち上げを支援する。
67	3	35保健の推進	保健推進課	あやちゃん健康ポイント取組人数	年間	↑	589人	1,000人	842人	971人	97.1%	6月1日～12月31日を取組期間として実施。認知度は高まってきている。 取組者のうち60歳以上が半数以上を占め、働きざかり世代へのアプローチが課題である。	綾部商工会議所と連携を持ち、働きざかり世代の参加者の増加を図る。
68	3	35保健の推進	保健推進課	ウォーキングイベント参加者数	年間	↑	452人	600人	501人	38人	6.3%	あやべふれあいウォーキングが台風のため中止となり、向日市で開催の向日市・綾部市友好交流ウォーキングのみ実施した。	あやべふれあいウォーキングを実施。 個々の体力に応じて参加しやすいように、3キロ、6.5キロ、10キロ、16キロの4コースを設定。
69	3	35保健の推進	保健推進課	乳幼児健康診査受診率	—	↑	96.3%	97.0%	97.4%	97.4%	100.4%	健診未受診者への受診勧奨や訪問活動を行った。	引き続き、健診未受診者には受診勧奨や訪問を行い、全数把握に努める。
70	3	35保健の推進	保健推進課	健康相談指導人数	年間	↑	7,085人	7,200人	6,799人	6,923人	96.2%	毎月の健康相談・栄養相談日に加え、各地区での健診後の健康相談や骨密度測定時の保健指導などを行い、個々に応じた指導を行った。	市民への周知を図り、利用しやすい健康相談の工夫をする。

第5次綾部市総合計画後期基本計画 進捗を共有する指標 実績調査表

No.	章	章・節	担当課	後期指標	集計区分	目標の方向	基準値(H26)	目標値(H32)	H28実績値	H29実績値	H29対目標比	H29実績	今後の方向性
71	3	35保健の推進	保健推進課	健康教育指導人数	年間	↑	4,817人	5,000人	5,546人	5,197人	103.9%	生活習慣病予防や介護予防など多岐に渡る健康教育を行った。各種団体からの依頼に応じ、出前講座を行った。	目標数を達成しており、今後もニーズに応じた健康教育を開催していく。
72	3	35保健の推進	市民・国保課	特定健康診査受診率	—	↑	30%	60%	32.1%	34.3%	57.2%	個別健診の通年実施、集団健診の休日実施、健診のお知らせによる周知、データ分析に基づく受診勧奨、保健師による戸別訪問、無料クーポンの送付等の取組を行い、受診環境の整備、受診への啓発を行ってきた。	個別健診の通年実施、集団健診の休日実施、健診のお知らせによる周知、データ分析に基づく受診勧奨、保健師による戸別訪問、無料クーポンの送付等の取組を行い、受診環境の整備、受診への啓発を行う。またかかりつけ医との連携した受診啓発の検討を行う。
73	3	35保健の推進	保健推進課	がん検診受診率	—	↑	18.2%	30.0%	19.8%	19.3%	64.3%	休日総合がん検診の実施や無料クーポン券の配布、あやちゃん健康ポイント事業、受診勧奨訪問などを行い、受診率向上に努めた。	引き続きがん検診受診の必要性の周知に努めるとともに、受けやすい検診体制を検討する。
74	3	37社会保障の適正運営	市民・国保課	国民健康保険料収納率	—	↑	96.14%	97.00%	96.16%	96.21%	99.2%	決定通知書送付時に口座振替推進チラシ及び口座振替依頼書を同封したり、広報紙やホームページへの掲載等により積極的に口座振替の推進を図るとともに、納期に一度振替不能となった方についても、通知の上再振替手続きを取るなど、確実な納付を図った。またきめ細やかな納付相談を行った結果、京都府内でも高い収納率を維持している。	引き続き、口座振替の推進とコンビニ納付の活用により、確実な納付となるよう納付環境を整えるとともに、きめ細やかな納付相談を行う。また京都地方税機構と連携を密にし、収納率向上を図る。
75	4	41農林業・内水面漁業の振興	農林課	京力農場プラン策定数	累計	↑	18件	30件	26件	29件	96.7%	対象集落にアンケートを実施し、必要と思われる集落には説明等を行った結果、目標達成に向けて順調に策定数を伸ばしている。	今後も目標達成に向けて地元啓発や事務的支援を行う。
76	4	41農林業・内水面漁業の振興	農林課	農業法人数(認定農業者)	累計	↑	15法人	17法人	17法人	16法人	94.1%	平成29年度中に期間満了を迎えた経営体で、更新の手続きができなかった法人があり1減となった。	左記経営体について、認定されたい意思はあるため、平成30年度中に再度審査を受ける予定。
77	4	41農林業・内水面漁業の振興	農林課	認定農業者数(個人・法人)	累計	↑	52経営体	60経営体	48経営体	48経営体	80.0%	高齢化によるリタイアが1件、新規認定が1件等で認定数は29年度から現状維持となった。 ①新規認定 1件 ②有効期間満了後新規認定 1件 ③期間満了による減 2件(うち、1件は更新の意志あり) ④更新及び変更 12件	認定農業者に有利な支援策があるため、一定新規認定者は見込めるが、高齢化による減少分を考慮すると横ばいで推移すると思われる。
78	4	41農林業・内水面漁業の振興	農林課	新規就農者(支援事業活用分)	累計	↑	57人	65人	60人	64人	98.5%	29年度中に新規で就農された方は1人で、30年度に青年等就農計画を作成し各種支援を受ける予定。	30年度の新規就農者は現時点で2経営体であり、コンスタントに実績を伸ばしていく見込みである。
79	4	41農林業・内水面漁業の振興	農林課	有害鳥獣被害面積	年間	↓	1,959a	1,000a	2,445a	1,658a	60.3%	防止柵設置地区においては一定の効果があった。しかし、未設置地区において、獣害の行動域などの変化により被害が増加している。減少傾向にあるものの、依然イノシシやシカの被害が甚大である。特に水稲。	未設置地区への防護柵設置普及啓発や設置地区への施設管理指導の推進に努める。

第5次綾部市総合計画後期基本計画 進捗を共有する指標 実績調査表

No.	章	章・節	担当課	後期指標	集計区分	目標の方向	基準値(H26)	目標値(H32)	H28実績値	H29実績値	H29対目標比	H29実績	今後の方向性
80	4	41農林業・内水面漁業の振興	農林課	有害鳥獣侵入防護柵設置延長	累計	↑	598km	650km	617km	634km	97.5%	電気柵5段4,034m 溶接金網2段5,000m 溶接金網1段5,220m 複合柵3,085m 合計17,339m実施。	目標達成まであと16kmであり、例年新規設置の要望もあり、今後も継続して取組を行うことで目標達成ができる見込みである。
81	4	41農林業・内水面漁業の振興	農林課	学校給食への食材提供グループ	年間	↑	10団体	16団体	10団体	14団体	87.5%	平成29年度は自然要因により必要量の確保が難しく、より多くのグループから提供いただいたため団体数としては増加した。ただ、提供グループ構成員の高齢化、自然要因による作物の確保など課題である。	高齢化などにより提供グループ数の増加は難しい。また、平成30年度から2校の給食実施校が増える中で、生産者・量の確保も難しく、今後は特産品の振興を中心に、「あやべ丸ごといただきます あじわいランチの日」の取組を実施する。
82	4	41農林業・内水面漁業の振興	農林課	間伐材運搬対策事業搬出量	年間	↑	2,509m <sup>3</sup>	3,500m <sup>3</sup>	3,274m <sup>3</sup>	2,840m <sup>3</sup>	81.1%	市内一円において、綾部市森林組合等が計2,840m <sup>3</sup> の搬出を行った。	目標値の達成率に向けて、今後も継続して間伐・搬出を実施していく。
83	4	41農林業・内水面漁業の振興	農林課	内水面漁業振興対策事業放流量	年間	↑	2,132kg	2,200kg	1,990kg	2,040kg	92.7%	漁協組合員の高齢化や来場客の減少などにより、予算が減少していることなどから、放流種苗量も減少傾向であり、目標の達成に至っていない。 ・平成29実績 上林漁協950kg、由良川漁協1,090kg、合計2,040kg	府・市の交付金を確保するとともに、各漁協の取組の強化により放流種苗量の増加を図る。
84	4	42農村の活性化	観光交流課	里山交流研修センター施設利用者数	年間	↑	6,761人	10,000人	3,111人	10,805人	108.1%	平成29年3月に森もりホール等の整備が完了し、イベント会場としての利用が大幅に増加した。	貸館の利用促進や交流事業を推進し、利用者の増加を図る。
85	4	42農村の活性化	観光交流課	里山交流研修センター宿泊者数	年間	↑	934人	1,000人	874人	1,108人	110.8%	平成29年3月に森もりホール等の整備が完了し施設が充実したことで、施設利用を伴う宿泊者が増加した。	森もりホール等の活用による合宿の受け入れ、イベント実施並びに大学との連携を継続し、安定した宿泊客数を確保する。
86	4	42農村の活性化	観光交流課	里山ねっと交流事業参加者数	年間	↑	3,881人	5,100人	2,465人	3,843人	75.4%	平成29年3月に森もりホール等の整備が完了し、森もりホール等を使用したイベント等を多数実施し整備前の水準まで回復した。	森もりホール等の活用や森の京都DMOをはじめとする他団体との連携強化により交流メニューの充実を図るなど交流事業を推進し、交流人口の増加を図る。
87	4	42農村の活性化	定住・地域政策課	定住世帯数(定住サポート総合窓口扱い)	累計	↑	136世帯	225世帯	179世帯	209世帯	92.9%	H29年度は30世帯79人の定住誘導を図ることができた(最多タイ)。H28年度は紹介できる物件が約30件ほどであったが、H29年度には約60件と空き家の流動化を図ることができ、そのことが定住実績につながったと考える。	年間目標である15世帯の定住誘導を引き続き図ることができれば、目標達成が可能となる。今後についても空き家の流動化を図り定住誘導につなげていきたい。
88	4	43商業の振興	商工労政課	チャレンジショップ支援事業費補助金交付件数	累計	↑	23店	35店	32店	39店	111.4%	7件(飲食業2件・サービス業5件)に対し補助金を交付し、商工会議所または地区商工繁栄会への加入促進を図った。	古民家や空き家を活用して創業したいという問い合わせが増えてきている。引き続き、商工会議所、定住・地域政策課、創業サポート関係機関等との情報共有、連携に努め、制度のPRを図る。また、市街地における空き店舗の活用については、商工会議所や地元商店街と共に活用の取組を検討していく。

第5次綾部市総合計画後期基本計画 進捗を共有する指標 実績調査表

No.	章	章・節	担当課	後期指標	集計区分	目標の方向	基準値(H26)	目標値(H32)	H28実績値	H29実績値	H29対目標比	H29実績	今後の方向性
89	4	44工業の振興	商工労政課	工場設置奨励金交付件数	年間	↑	19件	25件	23件	27件	108.0%	企業誘致の促進と振興育成を図るため、企業訪問等の機会を活用し、制度の周知、利用促進に努めた。近年、市内企業の増設等により交付金額は増加傾向にある。	引き続き企業に対して支援を行い、生産設備の増加に繋げる。
90	4	44工業の振興	商工労政課	綾部工業研修所卒業生数	累計	↑	1,560人	1,800人	1,639人	1,667人	92.6%	企業訪問等の際に綾部工業研修所の受講を案内し、基礎コースは28人が卒業。また上級コースでは12人が修了し、修了者は延べ40人となった。	周知に努め、受講者数の増加に繋げる。
91	4	44工業の振興	商工労政課	北部産業技術支援センター・綾部機械貸付件数(市内企業)	年間	↑	377件	415件	283件	251件	60.5%	企業訪問等の際に周知に努め、利用促進を図った。北部産業創造センターの整備に伴い、1、2月は機械貸付事業を停止したため、貸付件数が減少した。	4月にリニューアルした北部産業創造センターのPRを行い、更なる利用促進を図る。
92	4	44工業の振興	商工労政課	製造品出荷額等	年間	↑	1,029億円	1,400億円	1,247億円	集計中 (経済センサス)	対象外	製造出荷額等の増加を図るため、生産体制の強化や設備導入に対応する補助金等の周知に努めた。	補助金等の周知に努め、製造出荷額等の増加に繋げる。
93	4	45観光交流の推進	観光交流課	日帰り観光客数	年間	↑	545,631人	550,000人	624,174人	606,065人	110.2%	目標値に対して10.2%上回っているが、昨年度対比は、2.9%の減となった。海の京都、森の京都のターゲットイヤー終了によるメディア露出の減少や10月の天候不順と台風の影響が11月以降にも及んだことから微減となった。	本市の特色ある観光資源の商品化を進めるとともに、海の京都DMO・森の京都DMOの情報発信力を最大限に活用し、観光情報発信の強化に努め観光客の増加を図る。
94	4	45観光交流の推進	観光交流課	宿泊観光客数	年間	↑	63,135人	65,000人	58,643人	57,095人	87.8%	インバウンド需要により農家民宿においては、昨年対比で291人(46.9%)、また、旅館についても188人(13.5%)の増加となったが、ホテル、公共施設においてはいずれも減少し、全体として基準値を下回る結果となった。	海の京都DMO、森の京都DMO等の広域連携によるプロモーション活動や情報発信の強化に努め宿泊客数の増加を図る。
95	4	46地元雇用の確保	商工労政課	就職フェア参加企業数	年間	↑	34社 (平成25年度)	40社	38社	38社	95.0%	景気の回復傾向に伴い、企業の事業拡大などによる求人が多く出ている。8月に開催したあやべ就職就職フェアは、多くの企業から参加申込みがあり、38社が出展した。	多くの企業で人手不足が課題となっており、今後も多くの企業の参加が見込まれる。綾部市雇用促進連絡会議を中心に、開催時期や場所、内容等について検討する。
96	4	46地元雇用の確保	商工労政課	就職フェア参加者数	年間	↑	129人 (平成25年度)	200人	102人	57人	28.5%	有効求人倍率が高く、求職者にとっての選択肢が増え、就職をしやすい状況である。就職情報希望者や、大学、専門学校等へチラシによる広報を行ったが、当日は大雨で足元が悪く、参加者増とはならなかった。	現在、景気は回復傾向にあり、雇用情勢は改善兆しが見られるが、雇用のミスマッチ等、課題は残っている。綾部市雇用促進連絡会議を中心に、開催時期や場所、内容等を検討し、また、広報の充実に努める。
97	4	46地元雇用の確保	商工労政課	綾部市勤労者住宅資金金融貸付件数	累計	↑	63件	70件	63件	63件	90.0%	制度の利用促進を図るため取扱い金融機関と内容の見直しを行っているが、市中金利が低利で運用されている影響で新たな利用実績は無かった。	民間の金融機関の融資条件とは比較するものではなく、あくまで補完的な役割としているが、制度の利用促進を図るために、取扱い金融機関と制度内容の見直しを検討する。
98	5	51環境の保全と創造	環境保全課	廃食油回収量	年間	↑	6,668ℓ	7,000ℓ	6,920ℓ	5,629ℓ	80.4%	市民に対して、さらに廃食油回収の浸透を図るとともに、目標達成に向けて、綾部市環境市民会議と連携しながら、広報・啓発に取り組んでいく。	市民団体の取組推進により、現状維持を目指す。

第5次綾部市総合計画後期基本計画 進捗を共有する指標 実績調査表

No.	章	章・節	担当課	後期指標	集計区分	目標の方向	基準値(H26)	目標値(H32)	H28実績値	H29実績値	H29対目標比	H29実績	今後の方向性
99	5	51環境の保全と創造	環境保全課	環境講演会参加者数	年間	↑	70人	300人	50人	35人	11.7%	環境市民会議の事業として、定着してきており、環境市民会議のメンバーの出席はある程度見込めるが、今後、全市民的な参加が見込める講演会としていきたい。	魅力あるイベントの開催により来場者数を確保し現状維持を目指す。
100	5	51環境の保全と創造	環境保全課	BOD環境基準適合率	—	→	100%	100%	100%	100%	100.0%	由良川(国管理河川)上林川・八田川・犀川(府管理河川)、田野川・安場川・小呂川・高倉川等(市管理河川)の水質検査結果において、全ての河川でBODの環境基準に適合している。 また、綾部工業団地内における工場排水の水質検査においても水質汚濁防止法に基づく環境基準に適合している。	河川における環境基本法A類型のBODの環境基準値(2以下)を、すべての箇所達成できたので、今後も、京都府と連携し、河川の水質汚濁の監視を行っていく。また、綾部工業団地立地企業との公害防止協定及び市工業段立地企業との環境保全協定により、水質汚濁の監視を行う。
101	5	51環境の保全と創造	環境保全課	上林川を美しくする会葦刈りなど参加者数	年間	↑	90人	120人	98人	95人	79.2%	メルマガやイベントカレンダーに掲載するなどし、「上林川を美しくする会」の会員だけでなく会の活動に賛同いただけるボランティアを広く募集した。	年3回の実施予定としているが、平成29年度は計画通り実施でき、目標を達成できた。
102	5	51環境の保全と創造	環境保全課	住宅用太陽光発電システム設置補助件数	累計	↑	371件	971件	447件	470件	48.4%	住宅用太陽光発電システム設置の普及に努めるとともに、太陽光発電など再生可能エネルギーの普及啓発を行った。(29度23件)	住宅用太陽光発電システム設置の普及啓発に努めるとともに太陽光発電など再生可能エネルギーの啓発に努める。
103	5	52廃棄物対策の推進	環境保全課	資源物(紙類)回収量	年間	↑	1,247t	1,500t	1,154t	1,106t	73.7%	自治会やPTA等の団体に対しての資源ごみ回収補助金制度や自治会に対しての古紙回収保管庫設置費補助金制度による自主的な資源回収を支援した。	1団体当たりの回収量が減少したために、目標は達成できなかった。 紙類を少しでも多く、資源ごみとして出してもらうようにPRを行い、また「あやべ古紙再生プロジェクト」の周知を図り、登録団体・回収量ともに増加させることで、目標に近づける。
104	5	52廃棄物対策の推進	環境保全課	資源物(衣類)回収量	年間	↑	35t	40t	28t	28t	70.0%	自治会やPTA等の団体に対しての資源ごみ回収補助金制度により、自主的な資源回収を支援した。	資源回収で衣類も取り扱っていることが認知されていないことが考えられるので、周知するよう努める。
105	5	52廃棄物対策の推進	環境保全課	リサイクル推進員研修会参加率	—	↑	56%	60%	51%	61%	101.7%	例年、「ごみ減量化の取組について」「ごみ処理状況につて」の研修を行っている。昨年度は参加者の増加が見られたが、引き続き、研修内容を工夫するなど参加率の向上に努める。	研修内容の工夫と開催日程、開催場所の検討を行う。
106	5	52廃棄物対策の推進	環境保全課	可燃ごみ収集量	年間	↓	6,181t	6,000t	5,746t	5,568t	107.8%	人口減少によるところもあるが、ごみ分別の徹底と、ごみの減量化・資源化の取組が普及した。	ごみ分別の徹底を図るため「守ろうごみマナー」の記載内容の検討、ごみ減量化、ごみ資源化の普及推進に努める。平成29年度から「あやべ古紙再生プロジェクト」開始。
107	5	52廃棄物対策の推進	環境保全課	不燃ごみ収集量	年間	↓	751t	650t	782t	908t	71.6%	過疎・高齢化等から、不在となる家屋の片付けや不要となり排出されるごみが増えていることが要因と考える。	引き続き、ごみの分別の徹底とごみ減量化、ごみ資源化の普及推進に努める。
108	5	52廃棄物対策の推進	環境保全課	1人当たりごみ排出量(家庭ごみ)	年間	↓	205kg	200kg	190kg	192kg	104.2%	人口減少によるところもあるが、ごみ分別の徹底と、ごみの減量化・資源化の取組が普及した。	引き続き、ごみの分別の徹底とごみ減量化、ごみ資源化の普及推進に努める。

第5次綾部市総合計画後期基本計画 進捗を共有する指標 実績調査表

No.	章	章・節	担当課	後期指標	集計区分	目標の方向	基準値(H26)	目標値(H32)	H28実績値	H29実績値	H29対目標比	H29実績	今後の方向性
109	5	52廃棄物対策の推進	環境保全課	1人当たりごみ排出量(粗大ごみ)	年間	↓	12kg	7kg	13kg	16kg	43.8%	過疎・高齢化等から、不在となる家屋の片付けや不要となり排出されるごみが増えていることが要因と考える。	引き続き、ごみの分別の徹底とごみ減量化、ごみ資源化の普及推進に努める。
110	5	52廃棄物対策の推進	環境保全課	1人当たり資源物回収量	年間	↑	54kg	60kg	51kg	51kg	85.0%	目標値には到達していないが、ごみの分別の徹底、ごみ減量化、ごみ資源化の意識が定着しており、ほぼ横ばいの結果であった。	引き続き、ごみの分別の徹底とごみ減量化、ごみ資源化の普及推進に努める。
111	5	52廃棄物対策の推進	環境保全課	し尿処理量	年間	↓	10,450kℓ	7,500kℓ	8,889kℓ	8,558kℓ	87.6%	水洗化事業の進捗に伴い、し尿収集の規模が縮小する中、収集日程の統合も進め効率的な作業実施に努めた。	施設の適切な維持管理に努め、安定的・適正に運転する。
112	5	52廃棄物対策の推進	環境保全課	浄化槽汚泥処理量	年間	↑	15,510kℓ	18,300kℓ	15,651kℓ	17,552kℓ	95.9%	浄化槽、農業集落排水の整備などにより処理量が増加傾向にある中、安定した浄化槽汚泥処理を行い、適正な処理に努めた。	施設の適切な維持管理に努め、安定的・適正に運転する。
113	5	53上水道の安定供給	上水道課	水道普及率	—	↑	97.7%	98.1%	98.3%	98.4%	100.3%	平成29年度簡易水道統合整備事業において、山家西簡易水道の水道施設整備(配水管布設)を実施したが、平成28年度に整備区域内の未普及地が解消されたため、当年度において、未普及地解消はなかった。	水道未普及地の残りの奥上林地区については、地元の整備要望等の状況を見ながら、今後の施設整備等について検討を行う。
114	5	53上水道の安定供給	上水道課	上水道布設替え延長	年間	↑	1,939m	2,000m	2,115m	5,696m	284.8%	配水施設改良工事及び公共下水道関連工事により配水管布設替えを行った。	今後も継続して配水施設改良工事及び公共下水道関連工事による配水管布設替えを行う。
115	5	54下水道の整備促進	下水道課	水洗化率	—	↑	64.9%	75.0%	70.0%	70.6%	94.1%	整備完了地域における説明会の実施、アンケートの実施、広報紙による案内等により啓発を行った。	引き続き啓発に努める。
116	5	54下水道の整備促進	下水道課	汚水処理人口普及率	—	↑	72.5%	82.5%	76.0%	80.0%	97.0%	公共下水道事業において、約38.5haの供用を開始し、特定地域生活排水処理事業において37戸の水洗化を行った。	引き続き水洗化の推進に努める。
117	5	55防災対策の推進	防災課	自主防災組織数	累計	↑	138組織	196組織	144組織	148組織	75.5%	平成28年12月に自主防災組織未設置自治会に対し、「自主防災組織ハンドブック」配布し、併せて「自主防災組織育成事業費補助金制度」の活用について説明を行うなど、結成推進を働きかけた。	災害を未然に防止し、被害を最小限にとどめるためには、市民や地域との協働の取組が重要であり、今後も自主防災組織等ネットワーク会議と連携し、組織の設立と活動の活性化に取り組んで行く。
118	5	55防災対策の推進	防災課	防災座談会等の開催数	5か年累計	↑	144回	150回	16回	21回	14.0%	地域に出向き、自然災害や原子力災害住民避難計画について説明を行った。また、放課後学級でも防災に関する講義を行い、幼少期からの防災意識の高揚を図った。	引き続き、子供から大人まで、防災意識や防災知識の向上を図るため、出前講座等の実施に努める。

第5次綾部市総合計画後期基本計画 進捗を共有する指標 実績調査表

No.	章	章・節	担当課	後期指標	集計区分	目標の方向	基準値(H26)	目標値(H32)	H28実績値	H29実績値	H29対目標比	H29実績	今後の方向性
119	5	55防災対策の推進	建設課	急傾斜地崩壊対策事業・砂防事業新規実施地区数	累計	↑	—	5地区	0地区	1地区	20.0%	井根町については事業継続中である。平成29年度より、位田町において砂防事業に着手した。着実に事業の推進へ向けて進んでいると考える。	井根町は昨年に引き続き継続中である。一方で、小西地区及び旭ヶ丘地区については、京都府において、事業化に向けた予算確保がなされ、平成30年度以降、測量設計及び用地買収などの事業を進める予定である。近年、多発する自然災害により土石流及び急傾斜地対策の重要性が高まっている状況を受けて、限られた予算の中で有効な対策をしなければならない。
120	5	55防災対策の推進	建築課	木造住宅耐震診断補助実施数	累計	↑	122件	200件	139件	152件	76.0%	広報誌等での周知により診断実施件数としては昨年度より増加した。	制度のPRに努め、引き続き耐震診断件数の目標達成を目指す。
121	5	55防災対策の推進	建築課	木造住宅改修補助件数	累計	↑	49件	135件	76件	90件	66.7%	広報誌等での周知の結果、改修実施件数としては昨年度より増加した。	制度のPRに努め、引き続き耐震改修件数の目標達成を目指す。
122	5	56消防・救急体制の充実	消防本部	訓練実施事業所・自治会数(防火座談会を含む)	年間	↑	52か所	110か所	60か所	70か所	63.6%	69か所は、消防本部が現地で訓練指導を行った事業所等の数値であり、防火管理者の選任を必要とする事業所等では、9割以上が訓練を行っている。(法8対象物 279施設)	訓練指導を積極的に行っていく。(訓練を実施している事業所等の実数把握を行っていく。)
123	5	56消防・救急体制の充実	消防本部	各訓練・行事参加消防団員数	年間	↑	4,447人	4,600人	4,707人	2,885人	62.7%	目標数値に対し6割の結果であるが、奇数年の行事、訓練の少ない年としては良好であった。	更なる各種訓練への取組、消防団としての各種行事へ参加することで活性化を図る。
124	5	56消防・救急体制の充実	消防本部	救命講習受講者数	累計	↑	10,603人	13,000人	11,705人	12,217人	94.0%	綾部市応急手当インストラクターの積極的な参加で、丁寧な講習が可能になり、受講者の高評価が更なる受講につながっている。出前講座を中心に開催回数46回、新規受講者数565人	現状の事業展開を維持する。心肺停止に遭遇したら蘇生処置を行うのが当然という社会の実現を目指す。
125	5	57生活の安全性の向上	市民協働課	交通安全啓発活動参加者数	年間	↑	621人	660人	671人	706人	107.0%	安全・安心のまちづくり推進協議会として関係団体と連携し、啓発活動を行うとともに、広く市民の参加を呼びかけ講演会等により啓発活動を行った。	市民への啓発活動を推進するため、参加者増を目指す。
126	5	57生活の安全性の向上	市民協働課	防犯啓発活動参加者数	年間	↑	604人	650人	448人	631人	97.1%	安全・安心のまちづくり推進協議会として関係団体と連携し、啓発活動を行うとともに、広く市民の参加を呼びかけ講演会等により啓発活動を行った。	市民への啓発活動を推進するため、参加者増を目指す。
127	5	57生活の安全性の向上	商工労政課	消費生活出前講座受講者数	年間	↑	209人	300人	177人	151人	50.3%	利用申込みがあった1団体に対し出前講座を開催した。	要請を増やすため、自治会や福祉団体、学校、会社関係などに向けたはたらきかけを引き続き行う。

第5次綾部市総合計画後期基本計画 進捗を共有する指標 実績調査表

No.	章	章・節	担当課	後期指標	集計区分	目標の方向	基準値(H26)	目標値(H32)	H28実績値	H29実績値	H29対目標比	H29実績	今後の方向性
128	5	57生活の安全性の向上	商工労政課	消費生活相談件数	年間	↓	144件	125件	133件	138件	90.6%	相談方法:電話相談96件、来所相談42件。60歳以上の割合52.9%。案件によっては京都府消費生活安全センターや国民生活消費センターと連携し対応を行った。相談に対しては真摯に対応し、消費生活センターとしての役割を果たした。	相談件数を減少させるためには、被害の未然防止を図る啓発活動が重要である。一般的な啓発活動以外に、青少年への啓発活動を教育機関と検討するなど、新たな消費教育活動を検討していく。
129	5	57生活の安全性の向上	商工労政課	多重債務相談件数	年間	→	5件	5件	6件	3件	60.0%	京都府司法書士による多重債務相談を毎月第1火曜日に実施。予約制。無料。広報ねっとを中心に日程の広報を行った。司法書士からの助言を受けることができ、相談者の受け皿として機能が果たせた。	引き続き相談窓口の周知に努めるとともに多重債務状態に陥ることがないように啓発に努める。
130	6	62住環境の整備	定住・地域政策課	あやべ桜が丘団地販売区画数	累計	↑	421区画	456区画	425区画	427区画	93.6%	H29年度は2区画の契約となった。市内外での宅地開発が行われており、それらが影響したと考える。	予算を抑えた効果的な販売促進活動を模索し、目標達成に向けて取り組んでいく。
131	6	63道路の整備	建設課	市道舗装率	—	↑	91.4%	92.0%	91.7%	91.7%	99.7%	未改良道路については地域の生活道路の重要性を考慮し一定の改良を進めてきたところである。特に地元要望を受け必要性の高い道路は優先的に道路改良に取り組んでいる。	これからは新設舗装など道路改良も必要であるが、その一方では舗装の傷みなどの維持管理も取り組んでいかなければならない。特に地元要望を中心に必要性に応じながら舗装化へ向けた取組を進める必要がある。
132	6	64公共交通の充実	市民協働課	あやバス乗車人数	年間	↑	208,942人	218,000人	213,980人	205,670人	94.3%	平成29年度は前年度比減少となった。利用者の利便性向上のため、京都大学の学術指導を受け、綾部市立病院並びにあやべ観光案内所に時刻表案内システムを設置した。	引き続き利用促進策を展開し、利用者増を図る。
133	6	64公共交通の充実	市民協働課	鉄道利用通学費補助金利用者数	年間	↑	57人	75人	41人	51人	68.0%	平成29年度実績:51人864,000円 前年度比増となった。	引き続き制度のPR活動を強化し、利用者の増加を目指す。
134	6	64公共交通の充実	市民協働課	あいトレイン参加者数	年間	↑	113人	200人	108人	116人	58.0%	平成29年度実績:116人 前年度比増となった。	引き続きPR活動を強化し、利用者の増加を目指す。
135	6	64公共交通の充実	都市計画課	パーク&レール利用件数	年間	↑	18,999件	20,000件	18,194件	17,426件	87.1%	平成29年度中に、割引額を変更(1000円、2,000円→一律800円)。これにあわせ、綾部駅以外での切符購入についても対象となるよう利用範囲を拡大した。	現行制度を引き続き継続
136	6	66斎場・墓地の適正管理	環境保全課	斎場使用件数(告別式)	年間	↑	173件	190件	182件	146件	76.8%	平成26年度と比較して利用者は減少。取組としては、利用者が気持ちよく利用できるよう、施設内の整理・清掃を励行するとともに、忘れ物が無いよう注意喚起と点検を徹底した。	利用者が気持ちよく利用できるよう、施設内の整理・清掃を励行するとともに、忘れ物が無いよう点検を徹底していく。
137	6	66斎場・墓地の適正管理	環境保全課	斎場使用件数(通夜)	年間	↑	122件	140件	137件	116件	82.9%	平成26と比較して利用者は減少。取組としては、利用者が気持ちよく利用できるよう、施設内の整理・清掃を励行するとともに、忘れ物が無いよう注意喚起と点検を徹底した。	利用者が気持ちよく利用できるよう、施設内の整理・清掃を励行するとともに、忘れ物が無いよう点検を徹底していく。

第5次綾部市総合計画後期基本計画 進捗を共有する指標 実績調査表

No.	章	章・節	担当課	後期指標	集計区分	目標の方向	基準値(H26)	目標値(H32)	H28実績値	H29実績値	H29対目標比	H29実績	今後の方向性
138	6	67地域情報化の推進	総務課	メールマガジンの登録件数	累計	↑	4,799件	6,000件	5,776件	5,812件	96.9%	地域情報の受信手段としての役割があるメルマガということから若い世代から高齢者まで幅広いニーズがあり、一定範囲で広報はできた。	高齢者等からメールの設定等で相談が多くある中、きめ細かな対応により情報格差の是正及び登録件数の増加に努めたい。
139	7	71開かれた市政の推進	秘書広報課	綾部市ホームページのトップページアクセス件数	年間	↑	455千件	530千件	408千件	383千件	72.3%	月平均アクセス数は31,877件。基準年は市議選の影響で72,602件と突出している。平成25年度の月平均29,955件からは増加した。	引き続き、積極的な情報発信に努めるとともに、様式集の充実により利用者の利便性向上を図り、アクセス数の増を目指す。
140	7	71開かれた市政の推進	秘書広報課	FMIいかる・あやべール・地域メルマガ等への市政情報提供件数	年間	↑	1,500件	1,600件	1,903件	1,626件	101.6%	・FMIいかるへの情報提供件数1,552件(地域メルマガ配信分含む) ・あやべール(お知らせ・イベント情報)配信件数74件	目標を達成したが、引き続き積極的な市政情報の発信に努める。
141	7	73健全な財政運営	財政課	地方債発行額/地方債元金償還額(普通会計)	—	↓	0.985	1.0未満	1.026	1.417	70.6%	前年度からの繰越事業において、国の補正予算を活用し、交付税措置が有利な地方債を発行したため、目標が達成できなかった。	今後の財政運営に留意しつつ、地方債発行額を償還額より少なく抑えるように努める。